

2019年度～2022年10月期  
中期経営計画

アイスタディ株式会社  
2019年5月10日



1. 私たちが目指す姿
2. 中期経営目標
3. では、どうすべきか？
  - － 今期の取組みの概要
  - － 2019年11月以降の取組み

# 私たちが目指す姿

ビジョン

## HR Tech × Ed Tech の分野にて 日本を代表するソリューションカンパニーを目指す

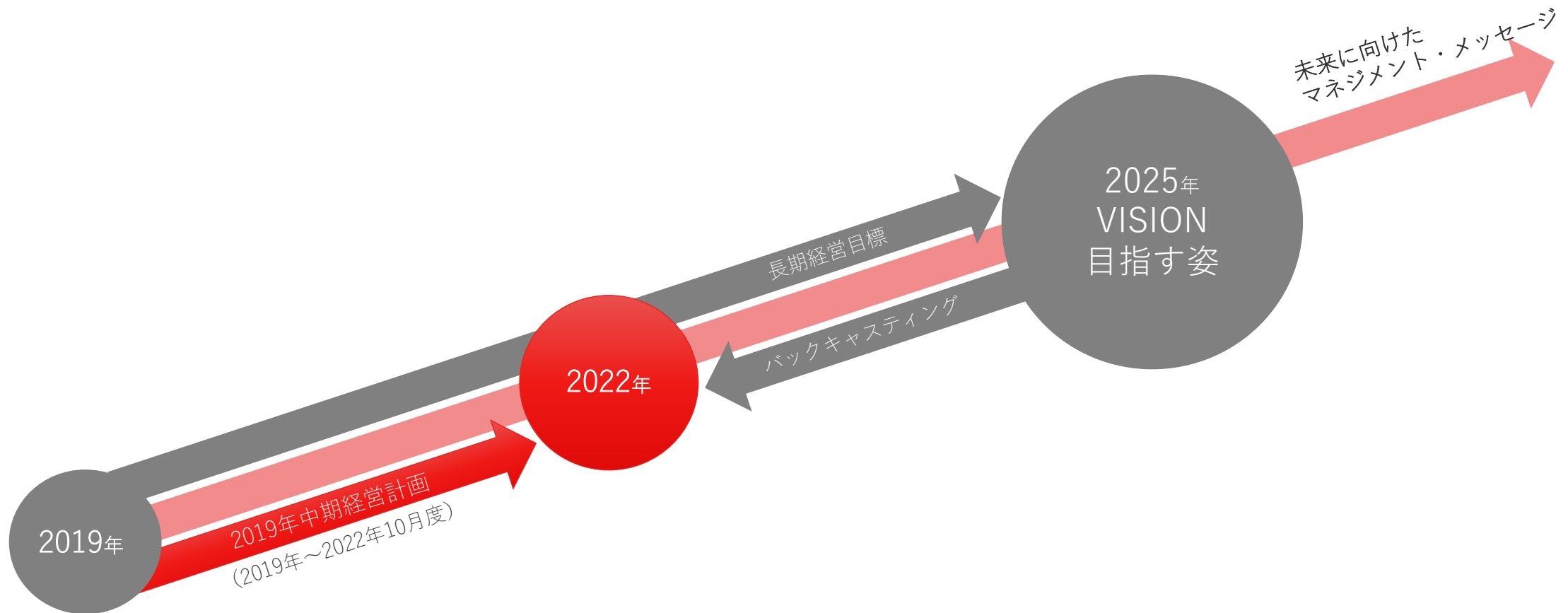
- HRTech とは
  - テクノロジーの活用によって人材育成や採用活動、人事評価などの人事領域の業務の改善を行うソリューション群を指す言葉で、HR (Human Resources) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語
  - スタートアップ企業が市場の成長を牽引しており、数十億円規模の資金調達に成功する企業も数多く現れるなど注目を集めています
- EdTech とは
  - Education (教育) と Technology (テクノロジー) を組み合わせた造語
  - この分野は、進歩を続けるテクノロジーの力を使い、教育にイノベーションを起こすビジネス領域として注目を集めています

# 中期經營目標

## 戦略の全体像

次の成長に向けた一歩として、ビジョン（=私たちの目指す姿）を描き、それを実現させるための「長期経営目標」を設計しました

そこから、バックキャストイングして「中期経営計画」を策定。定期的にギャップマネジメントを実施し、年次計画を見直しながら目標達成を図ります



私たちはストレッチした目標を掲げ、その達成に向けてコミットします

中期経営方針

売上高： 2022年10月期 **30億円以上** を達成

営業利益： 営業利益率は **15%以上** を達成

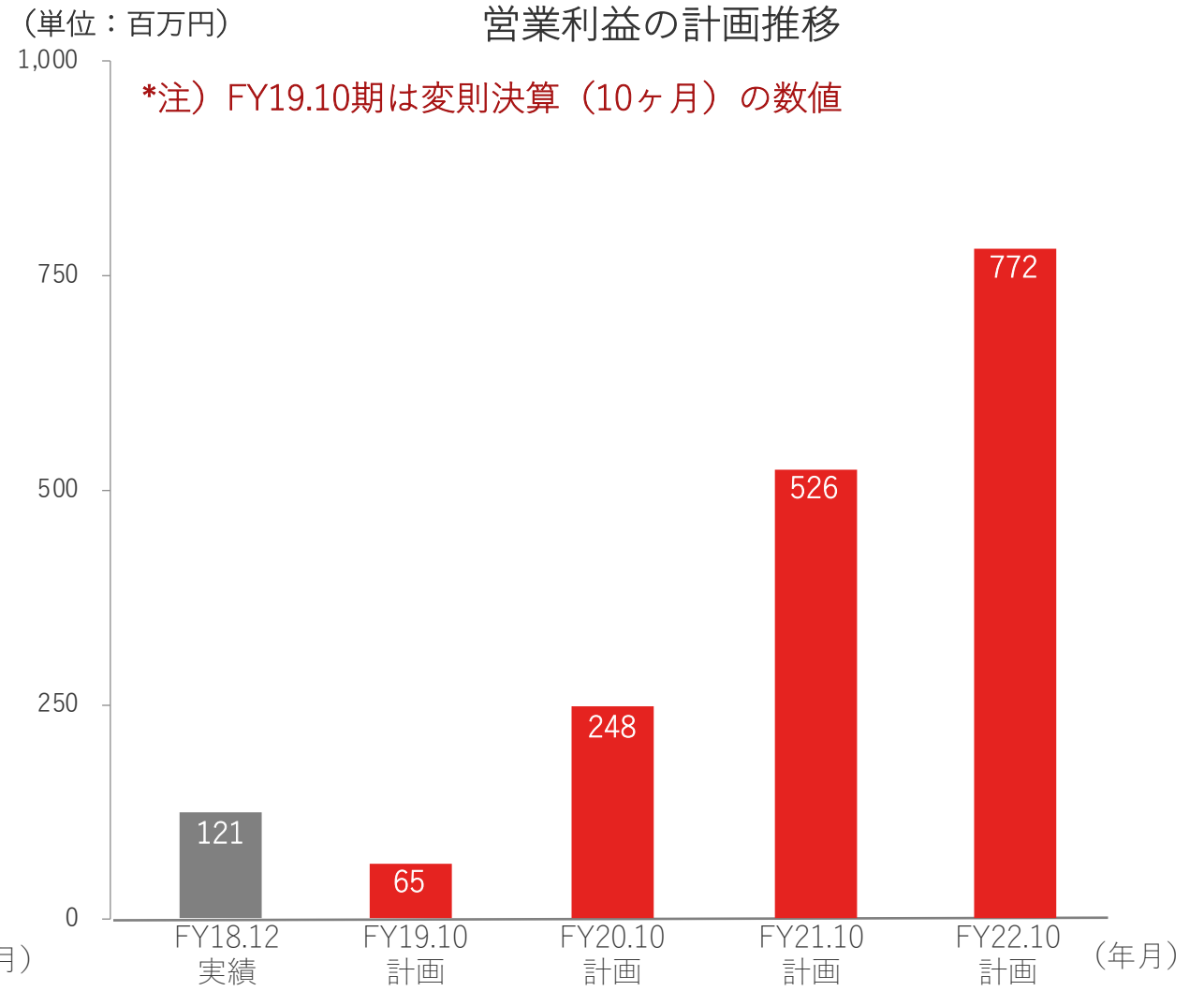
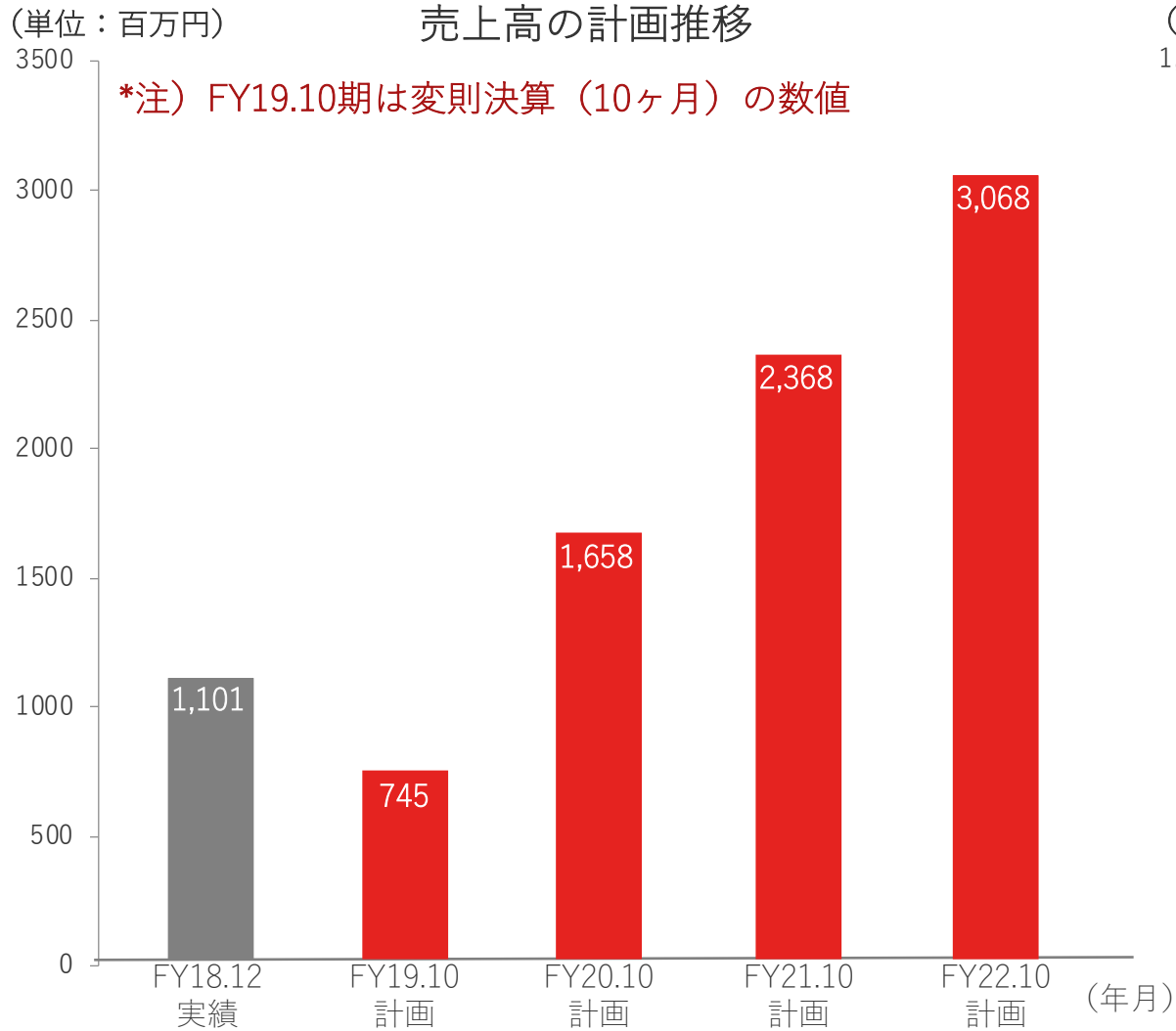
当期純利益： 当期純利益率は **10%以上** を達成

時価総額： 2022年10月期 **230～300億円規模**

配当方針： 株式の価値増加を最優先課題としつつ、経営基盤の安定と将来の事業展開に必要な内部留保の充実を勘案して利益還元を図るとともに、安定した配当を継続することを基本方針といたします

株主還元： 株主の皆さまのご支援にお応えすることを目的として、株主優待制度を実施してまいります

2022年に売上高は30億円超。営業利益は7億円超を目指します





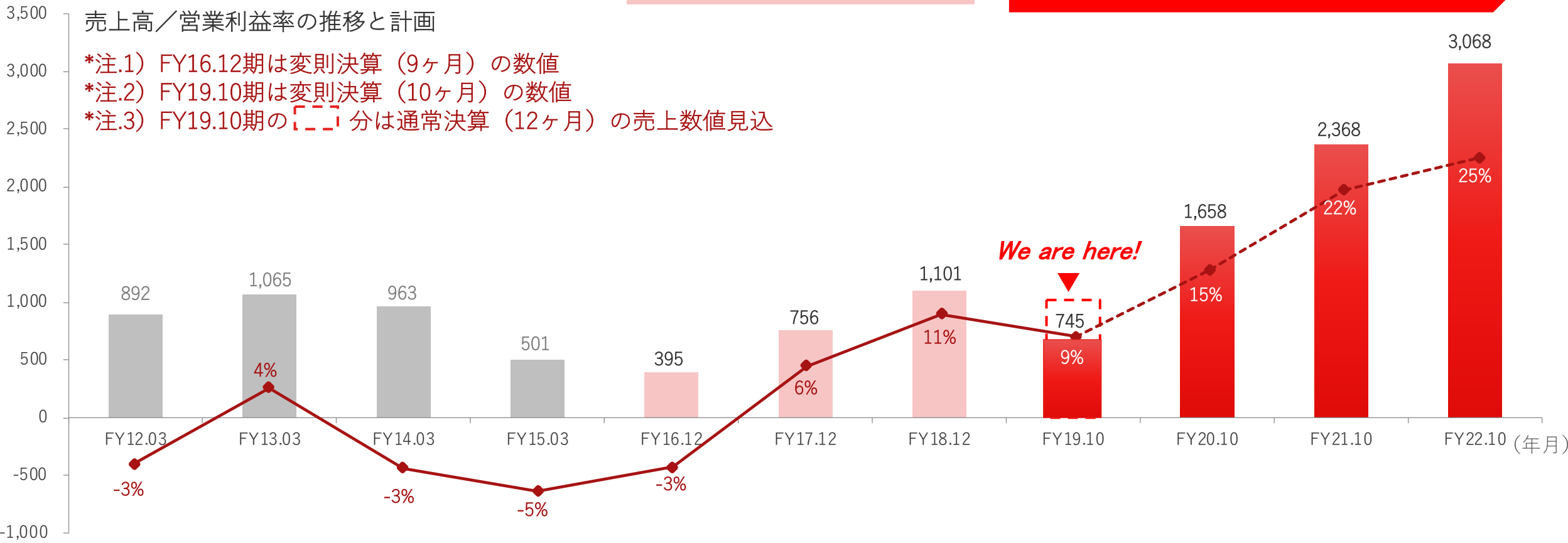
# 中期経営計画 – 位置付け (3/3)

今期 (~FY19.10) は「収益力の大幅向上」へ、業態のトランスフォームを加速  
 中期経営計画を羅針盤に、次なる成長に向けて経営の舵を切ります

経営改革  
 「第二の創業」スタート

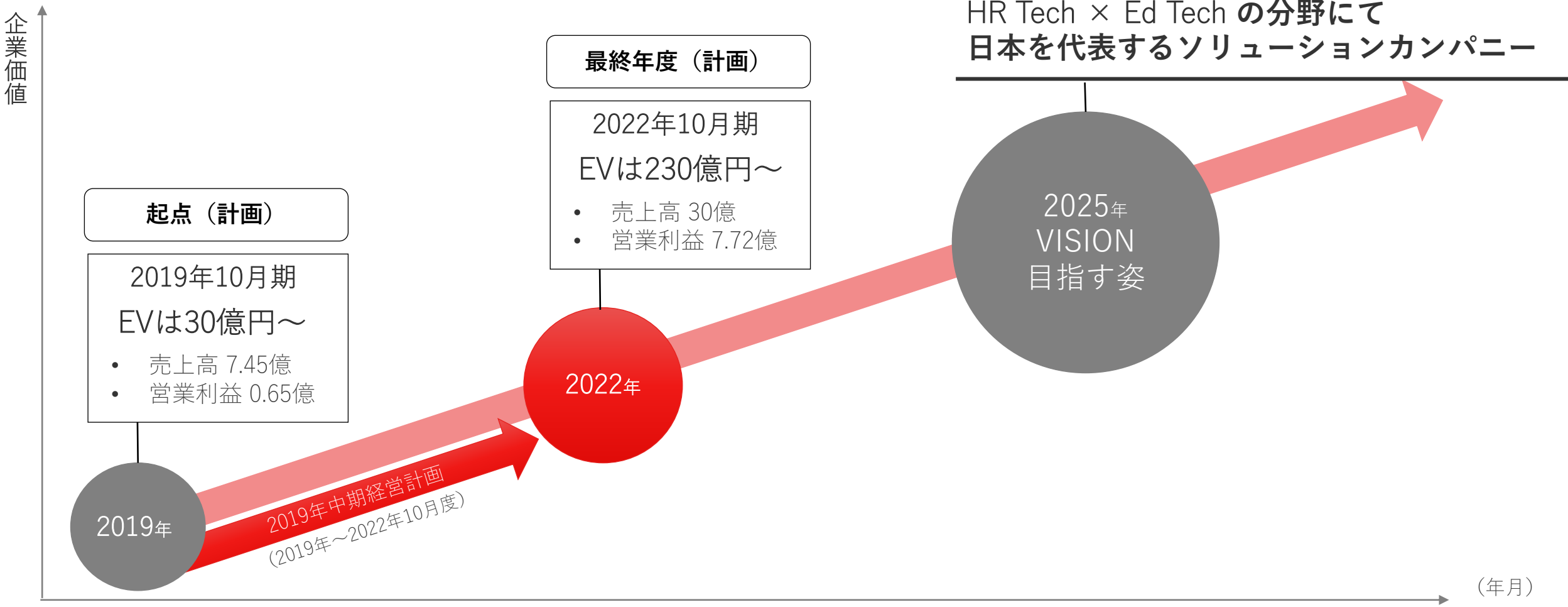
新たなステップ  
 中期経営計画がスタート

(単位：百万円)



# 企業価値向上への道すじ

HRテック×Edテック銘柄として自らを再定義し、積極的な資本政策を展開します  
企業価値は2022年に230億円超と大きな飛躍を目指します



では、どうすべきか？  
－ 事業方針 －

## 今期（～2019年10月）取り組みの概要

今期は、次なる成長に向けて7つの方針を打ち出し、着実に推進します

7つの方針	主な狙い	売上 拡大	粗利率 改善	販管費 削減
① 成長領域の特定と攻め筋の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の主戦場と戦い方を描く</li> </ul>	✓	✓	
② 営業体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>FISCO/CAICAとの連携強化</li> <li>自社リソースの補強</li> </ul>	✓		
③ ECチャネルの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売効率の向上</li> <li>売り逃しの回避</li> </ul>	✓	✓	
④ コスト削減の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムリ・ムダ・ムラの見直し</li> <li>ITインフラ設備を刷新</li> </ul>		✓	✓
⑤ LMSのリニューアルに着手	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存LMSのバージョン終了</li> <li>新規LMSを開発・β版ローンチ</li> </ul>	✓		
⑥ アカデミー事業の売上拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端技術領域の受講講座数拡大。着実にマネタイズを実現</li> </ul>	✓	✓	
⑦ さらなる価値創造に向けた挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>産官学と連携。第4次産業関連テクノロジーの社会実装に着手</li> </ul>	✓	✓	

## 参考) さらなる価値創造に向けた挑戦

第4次産業関連テクノロジーのひとつであるブロックチェーンは、さまざまな社会分野への応用に導く「ブロックチェーン2.0」の時代へ

**ブロックチェーン 1.0 (2000~2016)**

ブロックチェーンを中核技術とする仮想通貨(トークン)の誕生

★ *We are here!*

**ブロックチェーン 2.0 (2017~2020)**

ブロックチェーンの進化がもたらす社会革命

**ブロックチェーン 3.0 (2021~2025)**

ブロックチェーンを活かし、ライフスタイルの転換を促す

参考) さらなる価値創造に向けた挑戦

フィスコグループの法人ネットワーク × カイカのブロックチェーンエンジニアリングを活用し、私たちがブロックチェーン技術活用のユースケースを重ね、製品設計や商いに結びつけていく



来期から2022年を最終年度に、4つのテーマを掲げ、さらなる成長を加速してまいります

1

既存事業の  
さらなる強化

LMS

ラーニング  
コンテンツアイスタディ  
アカデミー

- 国内のLMS領域にてリーダーカンパニーへ。シェアトップを目指す
- 継続的なMD・製品力の強化 と 品質への「こだわり」を追求
- (私たちだけが提供できる) HRMS の開発に着手

- 業態にマッチした「ニッチ」なポジションを開拓
- 自社ブランドの強化・ECのさらなる成長

- 「0→1」から「1→10」のフェーズへシフト

2

業態の多様化  
それに寄与する機能・能力の高度化

- コンサルティング機能の強化
- 第4次産業関連テクノロジーを活用した製品設計や、それを商売にすべくアクション (\*スキーム) づくり

3

成長力の源泉となるチームづくり

- プロパー人材の採用 と プロフェッショナル人材の獲得 に注力
- イノベーションに挑戦するため、ダイバーシティを推進

4

シナジーの見込めるパートナーとの  
資本・業務提携などの推進

- 都度、マネジメントチームにて仔細に調査・分析・検討を重ねる

# iStudy<sup>®</sup>

End

アイスタディ株式会社  
2019年5月10日



本書は、アイスタディ株式会社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。

また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、アイスタディ株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。